



# 開校準備委員会便り No.2

R4.12.23

開校準備委員会

～魅力ある学校づくりに向けて～

12/13(火)に開校準備委員会でまとまった案を教育長へ報告いたしました。そして、12/16(金)に教育委員会が開かれ、「学年段階の区切り」や「学校名・園名(仮称)」について決定しましたので、ご報告させていただきます。

## 学年段階の区切りについて

### 3—5—4制

幼稚園を含めた3—5—4制に決定しました。これにより、3～5歳児は昭和幼稚園舎で、1～5年生は昭和小学校舎で、6～9年生は昭和中学校舎で生活することになります。

## 学校名・園名について

### 昭和五つ星学園義務教育学校(仮称)

### 昭和五つ星学園幼稚園(仮称)

校名アイデア募集にご協力くださりありがとうございました。保護者・地域の方からたくさんのご意見をいただきました。11/14(金)と12/5(月)に小委員会、12/9(金)に開校準備委員会を開き、学校名・園名について話し合いました。理由を明確にして学校名・園名を決めることを大切にして協議を行いました。その後、提案した学校名・園名について、教育委員会で検討され、次の理由で決定しました。

1952年の合併時は、日美・下倉・富山・水内の各村に小学校があり、日美と下倉が統合し、昭和、さらに富山を統合、そして、最後に水内(維新幼・小)を統合し、昭和地区の4校園が一つにまとまるという歴史的経過を振り返ると「昭和」しか考えられない。維新が昭和に吸収されるのではなく維新が加わり「昭和」が完成する。「昭和」の名称がふさわしいと考える。

また、「五つ星」の名称も、子ども・保護者・地域に慣れ親しんでおり、五つ星学園ができてからの思いが蓄積されているため、ふさわしい名称と考える。「昭和」と「五つ星」を合わせて「昭和五つ星学園」がよいと考える。五つ星学園の名称は「昭和中、昭和小、維新小、昭和幼、維新幼」を意味するが、歴史的には「昭和中、日美小、下倉小、富山小、水内小」の5校ととらえることもでき、幅広い年代に親しまれる名称になると考えられる。

名称については、議会で条例改正が行われた時点で正式決定となります。

今後は校歌・園歌、校章・園章、制服、スクールバス等の義務教育学校開校に向けた具体的なことについて、各小委員会で協議を行っていきます。R6年度開校に向けて、いいスタートができるように準備を行っていきます。ご理解・ご協力よろしく申し上げます。